

第10回山形支部学術集会

学術集会会長：日本海総合病院院長 栗谷義樹



会場風景

第10回日本医療マネジメント学会山形支部学術集会が7月20日(土)に酒田市で日本海総合病院 栗谷義樹院長を会長として多くの病院スタッフの御支援の下に開催され、231

名が参加し成功裏に終わりました。今回のメインテーマは「医療の効率化に向けて」で、特別講演は岩手県中部病院長北村道彦先生から「医療の効率化とチーム医療」という題で、医師不足、医療の高度化、患者の高齢化に伴いチーム医療の推進が病院にとって最重要課題とのお話がありました。ランチョンセミナーは「多職種の協働による看護業務の効率化」を相沢病院の武井純子先生からお話をいただきました。シンポジウムは「医療の効率化に向けて」をテーマに5演者による討論が行われました。一般演題も25題あり医療安全、連携、感染・褥瘡、チーム医療やクリティカルパスに関する演題で、熱心に討論や意見交換が行われました。毎年発表内容の質も着実に高まり、大変有意義な学術集会でした。

分科会等開催案内

2013年度クリティカルパス実践セミナー in 青森

テーマ：～電子カルテとDPC時代のクリティカルパスの作成と見直し～

電子カルテとDPCの時代になりクリティカルパスの作成と見直し方法も変化しつつあります。今回のセミナーでは、電子化クリティカルパス作成のためのエクセル作成ソフトを用いたクリティカルパスの作成とDPC分析システムを用いたクリティカルパスの見直しを通してクリティカルパスの重要性と電子カルテとDPC時代のクリティカルパスの作成と見直しのポイントを習得することを目的としています。奮ってご参加下さい。

実務研修の為に定員が限られていますので、お早めにお申込み下さいますようお願いいたします。

・日時 2013年10月26日(土)12:30～10月27日(日)14:30

・場所 青森県立中央病院 3階研修室

(〒030-8553 青森市東造道2丁目1-1)

・プログラム

第1日目 10月26日(土)

12:30 受付開始

13:00 開会

日本医療マネジメント学会理事長 宮崎久義

13:10 講演 I

「クリティカルパスの作成の基本」

医療法人朝日野会朝日野総合病院病院長 野村一俊

13:30 グループワーク I：エクセル作成ソフトを用いたクリティカルパスの作成

15:50 休憩

16:00 グループワーク発表・討議

17:00 講演 II

「地域連携クリティカルパスにおける転院時アウトカムの重要性～青森市大腿骨頸部骨折のデータより～」

青森県立中央病院整形外科部長 伊藤淳二

17:20 講演 III

「医療福祉連携士とクリティカルパスの関わり」

筑波大学大学院人間総合科学研究科

ヒューマン・ケア科学専攻教授 大久保 一郎

17:40 第1日目日程終了(予定)

第2日目 10月27日(日)

8:50 集合

9:00 講演 IV

「DPC時代のクリティカルパスの見直し」

国立病院機構熊本医療センター統括診療部長

清川哲志

9:30 グループワーク II：クリティカルパスの見直し

12:00 昼食

13:00 グループワーク発表・討議

14:00 講演 IV

「我が国におけるクリティカルパスの歴史」

国際医療福祉大学大学院医療経営管理学分野教授

武藤正樹

14:30 閉会

〈募集要項〉

○対象 医師、看護師他コメディカルスタッフ
(できるだけ、医師とコメディカルスタッフのペアでご参加ください)

○会費 12,000円(但し、非会員 20,000円)

○定員 80名(定員を満了し次第締め切らせて頂きますので、お早めにお申込み下さい)

○受付締切 2013年9月30日(月)

○問合せ先 日本医療マネジメント学会事務局

2013年度医療安全分科会

テーマ：医療安全の展望—遅すぎた革命からもう一つの革命へ

日本のここ10年に亘る官民を挙げての全国的医療安全の取り組みは世界や歴史に類を見ない快挙でした。しかしその成果にもかかわらず「何か足りない、上手いかわない、どうすればいいのか」と未だに焦燥感を持たれる方も多いようです。今回の分科会は皆様の疑問から出発して、専門講師がガイドし、その理由や展望を、一緒に、ひとつひ